

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和2年 会報
2号



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

八積駅周辺整備により 魅力あるまちづくり

暖冬による異常気象のさなか、新型コロナウイルス騒ぎで日本はもとより世界中がパニックに陥ってしまいが、皆様にはくれぐれもお体を大切にしてください。さ、おだか陽一後援会も先月の二日に総会を開催し、令和二年が新しい体制で実質スタートしました。

本紙の令和二年第一号でお知らせしたとおり、小高陽一君はこの村の将来に向けた人口減少対策として、最も効果的である「八積駅周辺整備」を行い、老若男女に魅力のあるまちづくりの旗振り役として再度、立候補の意思表示をしております。

既に、駅の北側に中央公民館の建替えが進行しており、南口駅前も構想に沿

って進めております。

この交流センター建設費については、今月の議会で今年度の村の予算が審議され、一〇億五四二六万円で承認されております。決して安い投資ではありませんが、人口減少対策・魅力的なまちづくりのため、今、やらなくてはならない事業であると後援会は承知しており、皆様にもご理解をいただきたいと思っております。

村長報告

令和二年度予算成立

去る三月三日から六日まで開会された、村議会三月会議において、一般会計六八億一〇〇万円、四特別



村長 小高 陽一

会計三九億二七四〇万円、合わせて一〇七億三八四〇万円（前年比一〇・三%増）の令和二年度予算が可決されました。

これにより、現在進めている（仮称）長生村交流センターおよび八積駅南口駅前広場整備事業の完成が近づきます。

従前より行っている少子高齢化対策はずっと続けます。高校生までの医療費無料化、高齢者のお出掛け支援、タクシードライバの配付は毎年伸びています。ふれあい事業でいつもの皆さんの顔を見るとホッとします。

政策の優先順位

- 一位・交流センター整備
- 二位・八積駅南口駅前広場整備
- 三位・八積駅北口整備
- 四位は「人口減少対策」です。本村でも人口減少が加速しており、地域活性化を図り、定住人口を増やすとともに、結婚生活支援、子育て支援の充実により出生率の向上を目指します。
- 五位は「給食センター施設整備事業」です。小中学校の給食施設の老朽化により、国の衛生管理基準に不適合との指摘を受け、アレルギー除去食の対応も不十分であることから、今後検討を進めます。
- 六位は平成四年度から実施している「下水道整備事業」で、令和六年まで整備計画により促進します。

その他、後期基本計画のアンケート結果に基づき、「医療体制整備」、「道路整備」、「防災対策」、「雇用促進」、「公共交通の充実」となりますが、緊急性、重要性を考へながら実施します。



森代議士に補助金を要望する小高村長